

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	,0175000413
法人名	社会福祉法人 北見有愛会
事業所名	グループホーム ゆう&あい ひまわり
訪問調査日	平成 19 年 6 月 29 日
評価確定日	平成 19 年 7 月 13 日
評価機関名	有限会社 NAVIRE

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族＝家族に限定しています。

運営者＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員＝管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年7月9日

【評価実施概要】

事業所番号	. 0175000413		
法人名	社会福祉法人 北見有愛会		
事業所名	グループホーム ゆう&あい ひまわり		
所在地 (電話番号)	北海道北見市花園町38番地6 (電 話) (0157)69-8633		
評価機関名	有限会社 NAVIRE		
所在地	北海道北見市本町5丁目2-38		
訪問調査日	6月29日	評価確定日	7月13日

【情報提供票より】(19年4月1日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 13 年 6 月 8 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤 12 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 6.2 人	

(2)建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	木造 造り	
	2 階建ての	1 階 ~ 2 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	15,000~21,000 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,300 円		

(4)利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	17 名	男性 1 名	女性 16 名
要介護1	4 名	要介護2	3 名
要介護3	2 名	要介護4	4 名
要介護5	3 名	要支援2	0 名
年齢	平均 88.8 歳	最低 83 歳	最高 95 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	為山堂医院・塩田内科医院・玉腰病院・若原歯科医院
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

清潔感が漂うホームには、日々楽しそうに働いているスタッフが多く、利用者の雰囲気も穏やかです。介護計画は状況や状態の変化にあわせ随時対応し、3ヶ月毎の見直しも、きっちりと行われケアプランに沿った介護がなされています。その流れの中でスタッフ間の意志の疎通があり、利用者にあわせた穏やかな接し方にて安心感が伝わります。利用者の回復経過が良好となった糧を自信につなげ、利用者の言葉を引用して掲げた理念の中には、“感謝”の言葉を冒頭に、笑顔でいられる事、共に寄り添い生きていける事、自分らしく自分のままでいられる事、全ての人に出会えた事を挙げスタッフ全員でより一層のスキルアップを目指し歩んでいるホームです。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価での改善課題として運営理念、新人職員の研修、地域との関わり等がありましたが、全ての改善点について改善されています。スタッフ全員で検討して実践し日々の向上に結び付けています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 反省と再確認を行い現状に満足する事なく、質の向上に努めています。現場においては、利用者を一番に考え、管理者自ら実践しスタッフとのコミュニケーションを大切にしながら、方向性をみいだして自己評価に取り組んでいます。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 5月に開催の予定でしたが、利用者の入院等があり7月に開催予定となっています。ホーム側の姿勢が反映される様、運営推進会議のメンバーの意見を引き出して今後に活かせる事を期待しています。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 定期的なホーム便りにて家族と密に連携をとり、個別に手紙を送付したり面談時には近況報告は勿論の事、“何かありませんか”と声をかける等、気さくに話せる雰囲気をつくっています。又、利用者・家族の希望により居室に電話を設置する配慮がされ、経営者の前向きな姿勢が伺えます。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 近所の小学生が利用者とオセロゲームやトランプをしに遊びに来たり、町内会の行事への参加、婦人部での花壇の整備等に積極的に参加しています。町内会の花見の際には、高齢者が不便と感じる箇所の工夫と気づきが地域の方から有り、良い関係が保たれています。又、催し事には実施目的を計画の中に記載してスタッフ間で意識の統一をされています。

(有)NAVIRE

2. 評価結果(詳細)

(☐ 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者からの言葉、「感謝」を全員が感銘し、話し合いホームの理念として取り入れている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者はケース会議や日々の生活の中で、随時話し合いを持ち、職員全員が理念を共有し、実践に活かしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	利用者と共に町内会行事への参加や婦人部での花壇整備等に積極的に参加し、近くの小学校の課外授業での訪問見学があり、それを機に小学生が立ち寄ってもらえるような関係になっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を実施する事により全職員での反省と再確認を行ない、現状に満足する事なく更なる向上を目指し、前回の要改善点は改善されている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	早期から準備に取り組みご家族や町内会とは相談済みだが、利用者の入院等があり、調整がつかず実施されていない。現在、早期開催に向けて準備中である。	○	調査の時点では、実施はされていないが、管理者は運営推進会議の目的や意義は十分理解している。今回の外部評価結果を議題に出し、ホームの事を知って頂き、更に協力関係を深め、連携を強化して頂く事を期待します。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所で判断できない場合やその他、相談や確認等の際には、市の担当者と話し合っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族には定期的に手紙を送り、お知らせがある際は一言付け加える等工夫をしている。また、ホームだよりの中に職員の異動や行事の案内を記載し、金銭管理については面会の際には必ず確認していただいている。面会になかなか来れない際には電話や郵送で報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族とは日常的にコミュニケーションをはかり、何でも言える関係作りに努めている。また、苦情受付箱や苦情受付窓口の説明を口頭及び書面で行い、早期の対応、返答を行うよう体制を整備している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	後任人事の検討とホーム内で協力関係を維持し利用者やご家族が不安や混乱しないよう配慮されている。また、決定した時点で早期にお知らせし質問など受け付けるよう取り組んでいる。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は資格取得への助成や法人内外の必要な研修会等に積極的に参加するよう支援し、職員の質の確保を目標として取り組んでいる。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	関係グループホームとの交流や協力は日常的に行われ学習会も行っているが、その他の事業所については管理者が訪問し相談をしたり相談を受ける等の交流がある。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に数回の面談を行ったり、ご家族や関係機関の馴染みの方の協力をして頂き、ご本人が安心して生活できるように配慮した中で、趣味や生活歴を事前に把握し、ホームに馴染んで頂ける配慮を心掛けている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	これまでの経験から職員は入居者と共に過ごす中で、利用者から学ぶ事の大切さを理解し、支えあう関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの生活歴や行動パターン、性格等の把握に努め、家族や本人の希望を傾聴し、実現できるように支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人やご家族の希望や意見を聞き取り反映させられるようなプラン作成に取り組むと共に、生活の中から新たな課題やケアのあり方を見だし相談しながら介護計画の立案を行っている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎の見直しを実施すると共に、状態や状況の変化、ご本人の意向にそぐわないもの等については期間に拘らず随時見直しを行っている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	系列のディサービスへ、定期的に利用している利用者もあり、そのなかでの予防プランや楽しみ事を企画し、実践している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族と相談の上、希望の医療機関を利用し、ご家族、かかりつけ医、事業所間での報告、連絡、相談を密にする事により適切な対応が行われている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療機関やご本人、ご家族、各関係機関と十分に話し合い全員で方針を共有し取り組んでいる。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	馴染みの関係の中で馴れ合いとならぬよう心がけ自尊心や羞恥心に配慮しプライバシーを損ねる様な声掛けや対応に注意している。また、記録等の取り扱いにも十分注意している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	フェイスシートで利用者の生活習慣や趣味を把握し、傾聴し、利用者が自由に自らのペースや希望にそって暮らせるように支援している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	米とぎや盛り付け等を手伝って頂いている。食事中も食材についての会話などでゆったりと楽しい雰囲気づくりを心掛け、危険のないよう見守り、支援を行っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	最低、週3回は全員入浴されている。本人の希望を優先し気が乗らない時などは無理強いする事なく、気分を変えたり時間を変更するなどし支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の生活歴を把握し、日常の会話からも個人を良く知り、塗り絵や縫い物、編み物や掃除などその人に合った支援の提供をしている。また、買い物や散歩など個別に支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や散歩等は、日常的化され、地域のお祭りや行事への参加も積極的におこなっている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全職員が玄関を施錠する事による弊害を理解し、開錠する為の安全対策を話し合い、施錠しない取り組みをしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急対応マニュアルを作成し、個々の状態を把握し避難の方法を検討中である。	○	定期的な避難訓練の実施を期待します。季節や時間帯などあらゆる場面を想定したマニュアルの作成や話し合い、職員の注意意識を高める取り組みを期待します。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量、水分摂取量の記録はしっかりとされており、カロリーや栄養バランスを考えた食事になっている。また食欲低下が見られる場合は好みの物や摂取しやすい物を用意するなど工夫しており、状況により主治医と相談し受診や栄養補助食品などの支援も行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた装飾などを行い華美にならないよう配慮し穏やかに過ごせるよう支援している。家庭的な雰囲気ですぐ居心地よく過ごせるように心掛けている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際には、今まで使用していた家具等馴染みの物等を持ち込んでいただき、本人や御家族と相談しながら配置を行っている。		